

龍ヶ崎 MaaS 実証実験について関東鉄道と意見交換しました (10/4)

10月4日(月)放課後、龍ヶ崎市で実施される MaaS 実証実験の概要を説明するため、関東鉄道の担当者が本校を訪れ、生徒と意見交換を行いました。

MaaS とは、Mobility as a Service の略で「地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス(国土交通省定義)」です。一言でいえば「ひとりひとりがクルマ以外の交通手段でラクに移動できる社会」だそうです。

実証実験では、レンタル利用できる「電動三輪バイク」の走行実験を行います。竜ヶ崎駅を拠点に約 2km にわたる龍ヶ崎本町商店街で、新しい移動の仕組みを取り入れたまちづくりの提案に対し、生徒からは、「Instagramを積極的に活用し、若い人や他の地域に住む人たちをターゲットにするにはどうしたらよいか考えるべきではないか。」、「他の鉄道会社が行っているように、映像による宣伝に力を入れたらよいのではないか。」、「市の広報誌を活用すれば高齢者の目に留まりやすいのではないか。」ほか多くの意見が出されました。最後に、細矢教頭から、「公共交通について自分の意見を述べる貴重な機会になったのではないか。高齢者の移動手段の確保は地域の差し迫った課題である。今回を契機に、自分事として考えることの大切さを知ってほしい。」との講評がありました。竜ヶ崎二高は、協議会の一員として積極的に関わっていきます。



事前の打ち合わせの様子



MaaS について説明が始まりました



生徒から次々と提案がありました



地域活性化に向けた有意義な話し合いでした